

令和3年8月30日
午後6時30分～オンライン開催

令和3年度第1回世田谷区認知症施策評価委員会 次第

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

(1) 世田谷区認知症とともに生きる希望計画の進捗状況について

プロジェクト推進チームについて

各プロジェクト推進チームの進捗状況

(2) 認知症の方のセーフティーネットについて

(3) その他

配付資料

- 資料1 - 世田谷区認知症施策評価委員会 委員名簿
- 資料1 - 世田谷区認知症施策評価委員会 パートナー名簿
- 資料2 世田谷区認知症施策評価委員会にかかる部会 委員・パートナー名簿【令和3年5月】
- 資料3 世田谷区認知症施策評価委員会とプロジェクト推進チーム等の位置づけ(案)
- 資料4 世田谷区認知症とともに生きる希望計画における目標達成に向けた具体的取組みについて
(令和3～5年度)
- 資料5 - 世田谷区認知症とともに生きる希望計画における活動状況及びスケジュール(案)
- 資料5 - 世田谷区認知症とともに生きる希望計画における普及啓発等の状況
- 資料6 認知症の方のセーフティーネットについて
- 資料6 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業にかかる自治体向け調査結果について(速報)

令和3年8月30日 令和3年度第1回
世田谷区認知症施策評価委員会 資料1 -

世田谷区認知症施策評価委員会名簿（令和2年10月1日～令和4年9月30日）

	区分	氏名	職（所属）等	推進チーム 参加ご意向
1	本人	長谷部 泰司	認知症体験者	○
2	本人	S・さきこ	認知症体験者	○
3	本人	貫田 直義	認知症体験者（R3.5～）	○
4	学経	大熊由 紀子	国際医療福祉大学大学院教授	世話人
5	学経	村中 峯子	東京医療保健大学大学院看護学研究科非常勤講師	○
6	学経	田中 富美子	弁護士、世田谷区社会福祉協議会成年後見 センター事例検討委員会副委員長	
7	学経	永田 久美子	認知症介護研究・研修東京センター研究部部长	世話人
8	学経	西田 淳志	(公財) 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター長	世話人
9	専門医	新里 和弘	都立松沢病院認知症疾患医療センター長	○
10	専門医	長谷川 幹	三軒茶屋内科リハビリテーションクリニック院長	世話人
11	地区医師会	山形 邦嘉	(社)世田谷区医師会理事	
12	地区医師会	山口 潔	(社)玉川医師会理事	○
13	地区歯科医師会	萩原 正秀	(公社)世田谷区歯科医師会担当理事（R3.7～）	
14	地区歯科医師会	島 貫博	(公社)玉川歯科医師会副会長	
15	地区薬剤師会	佐伯 孝英	(社)世田谷薬剤師会監事	○
16	地区薬剤師会	佐藤 ひとみ	(社)玉川砧薬剤師会専務理事	
17	区民	黒木 勉	世田谷区民生委員児童委員協議会副会長	
18	区民	水野 貞	世田谷区町会総連合会副会長	
19	区民	柏 雅康	世田谷区商店街連合会常任理事	○
20	家族会	高橋 聡子	在宅介護家族の会「フェロー会」代表	○
21	地域団体	中澤まゆみ	認知症カフェ多職種ケアネットワーク 「せたカフェ」代表、福祉ジャーナリスト	世話人
22	地域団体	岡崎 克美	世田谷区社会福祉協議会副会長	○
23	介護保険事業者等	徳永 宣行	世田谷区介護サービスネットワーク代表	
24	介護保険事業者等	相川しのぶ	世田谷区ケアマネジャー連絡会会長	○
25	介護保険事業者等	高橋 洋子	梅丘あんしんすこやかセンター管理者	
26	介護保険事業者等	遠矢 純一郎	認知症在宅生活サポートセンター代表	世話人

令和3年8月30日 令和3年度第1回
世田谷区認知症施策評価委員会 資料1 -

世田谷区認知症施策評価委員会パートナー名簿（令和2年10月1日～令和4年9月30日）

	氏名	職（所属）等
1	工藤幸子	長谷部泰司委員パートナー
2	鈴井章子	長谷部泰司委員パートナー
3	小林真理子	S・さきこ委員パートナー
4	蓮見早苗	S・さきこ委員パートナー
5	貫田弥生	貫田直義委員パートナー（R3.5～）

世田谷区認知症施策評価委員会にかかる部会 委員・パートナー名簿

委員名簿【令和3年5月時点】

	区分	氏名	職(所属)等
1	本人	長谷部泰司	認知症体験者
2	本人	S・さきこ	認知症体験者
3	本人	貫田直義	認知症体験者
4	学経	大熊由紀子	国際医療福祉大学大学院教授
5	学経	永田久美子	認知症介護研究・研修東京センター研究部部长
6	学経	西田淳志	(公財)東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター長
7	専門医	長谷川幹	三軒茶屋内科リハビリテーションクリニック院長
8	地域団体	中澤まゆみ	認知症カフェ多職種ケアネットワーク「せたカフェ」 代表、福祉ジャーナリスト
9	介護保険事業者等	遠矢純一郎	認知症在宅生活サポートセンター代表

パートナー名簿【令和3年5月時点】

	氏名	職(所属)等
1	工藤幸子	長谷部泰司委員パートナー
2	鈴井章子	長谷部泰司委員パートナー
3	小林真理子	S・さきこ委員パートナー
4	蓮見早苗	S・さきこ委員パートナー
5	貫田弥生	貫田直義委員パートナー

世田谷区認知症施策評価委員会とプロジェクト推進チーム等の位置づけ（案）

世田谷区認知症施策評価委員会（条例第18条）

認知症施策等についての調査審議する会議体（年2回程度）

認知症の本人・学識経験者・認知症専門医・医師会・歯科医師会・薬剤師会・民生委員児童委員協議会・
町会総連合会・商店街連合会・家族会・介護保険事業者・あんしんすこやかセンター等の委員で構成

部会（条例施行規則第9条）

希望計画及び認知症施策について、評価委員会にてご議論いただいた専門的事項の検討を行う会議体（年3回程度）
委員長が指名する委員（認知症の本人・学識経験者・専門医・医師会・地域団体等の委員）で構成

プロジェクト推進チーム

4つのプロジェクトの企画・実施・見直しを行う

認知症の本人及び委員会の委員ほか重点テーマに関心のある人で構成

大熊委員長、永田副委員長は全てのチームに参加

<プロジェクト世話人会議>

4つのプロジェクトを一体的に進めるため、
各世話人が一同に集い、進捗や意見交換を行う場

情報発信
・世話人
(中澤委員)

本人発信
・世話人
(遠矢委員)

私の希望ファイル
・世話人(西田委員(当面は
永田副委員長が代行))

地域づくり
・世話人
(長谷川委員)

(仮称)セーフティネットについて検討する部会

調査・審議

報告

プロジェクト推進チ
ームの活動状況
・メンバー間での情報
共有

28日常生活圏域

4つのアクションチーム

条例を知る

本人が語る、聴く、本人が
参画する

「私の希望ファイル」を

創る、備える

一緒にできる地域づくり
を進める

まちづくりセンター

あんしんすこやかセンター
社会福祉協議会

5地域三者一体となって進
める

チームを応援

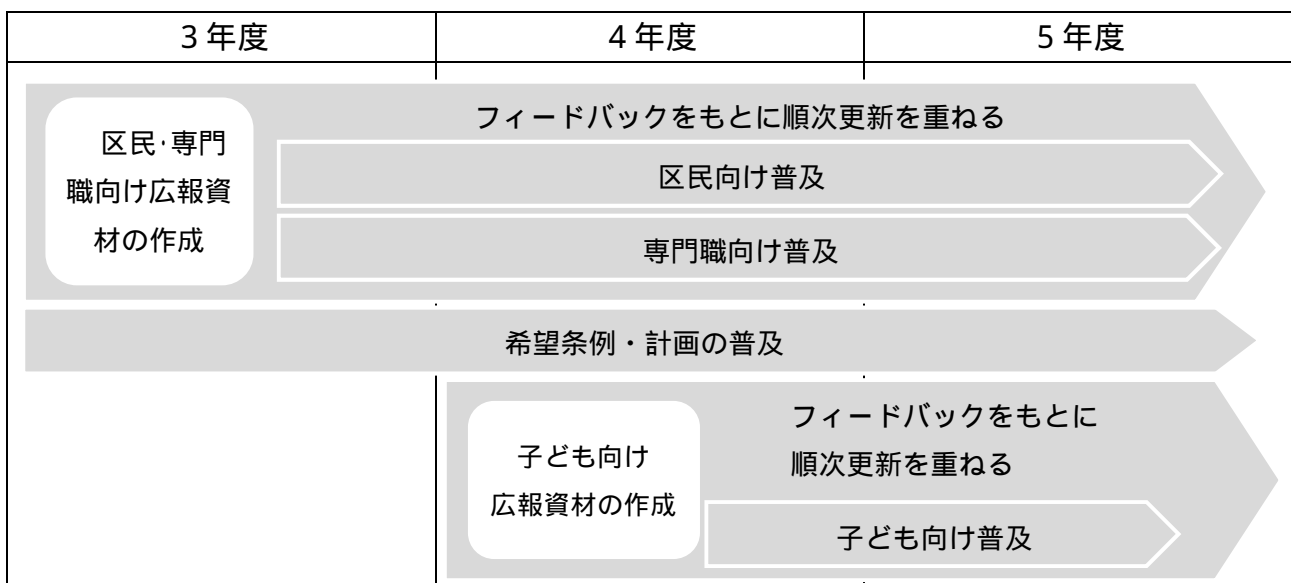
フィードバック

世田谷区認知症とともに生きる希望計画における
目標達成に向けた具体的取組みについて（令和3～5年度）

・・・共通したものを作成。

目標	認知症観の転換を図る		
3年間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信・共有プロジェクトを中心として、本人の想いや体験等を記した、パンフレットやホームページなど、認知症観の転換を図る多様な媒体を本人とともに作成していきます。 ・多様な媒体を活用し、イベントを含む各事業等を通して、子どもを含めた区民等にわかりやすく伝え、話し合い、希望条例の理解を深めていきます。 ・「第9期世田谷区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に向けた令和4年度の「世田谷区高齢者ニーズ調査・介護保険実態調査」等にて現状値を図る調査を実施します 		
	内容	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
	認知症になってからも自分らしく希望を持って暮らすことができると思う人の割合		6割

3年間の具体的取組み



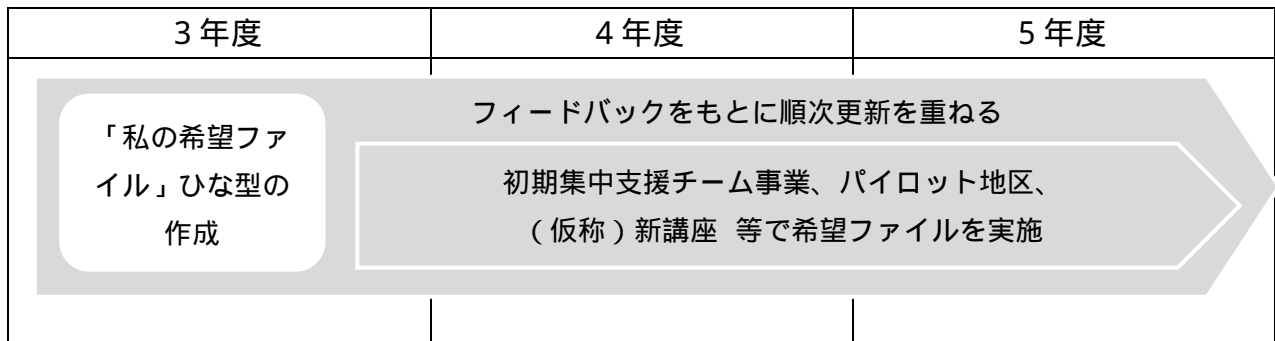
目標	本人の発信・参加を推進する		
3年間の取組み	・本人発信・参画プロジェクトを中心に活動を展開し、本人が発信・社会参加する場面を、ビデオメッセージやオンラインを含めた多様な機会を通じてつくります。 ・本人交流会等の実施場所(地域)と実施回数や参加者を拡充していきます。		
	内容	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
	認知症に関わる会議、検討会及び講演会、イベント、シンポジウム、交流会等に本人が参画している割合	/	9割

3年間の具体的取組み

3年度	4年度	5年度
本人発信 動画の作成	フィードバックをもとに順次更新を重ねる	
	区民向け普及	
	専門職向け普及	
認知症に関わる会議、講演会等イベント、交流会や地域アクション、日常生活場面での本人参画の継続		
本人の参画機会の拡充		

目標	「私の希望ファイル」の取組みを通して、認知症への備えを推進する		
3年間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の希望ファイル」プロジェクトを中心に、アクションチームが本人とともに話し合う場の拡充に取り組みます。 ・本人を含む区民等と希望条例をテーマにした話し合いを行う中で「私の希望ファイル」を実際に体験し、本人のフィードバックをもとに令和3年度から令和5年度までの3年間をかけて内容を更新していきます。 ・アクションチームは、区内28地区で活動が実施できるよう、活動につながる準備等の始動を含めて取り組みます。 		
	内容	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
	「私の希望ファイル」について話し合うアクションチームの実施、「私の希望ファイル」の更新、充実	/	区内28地区 で始動

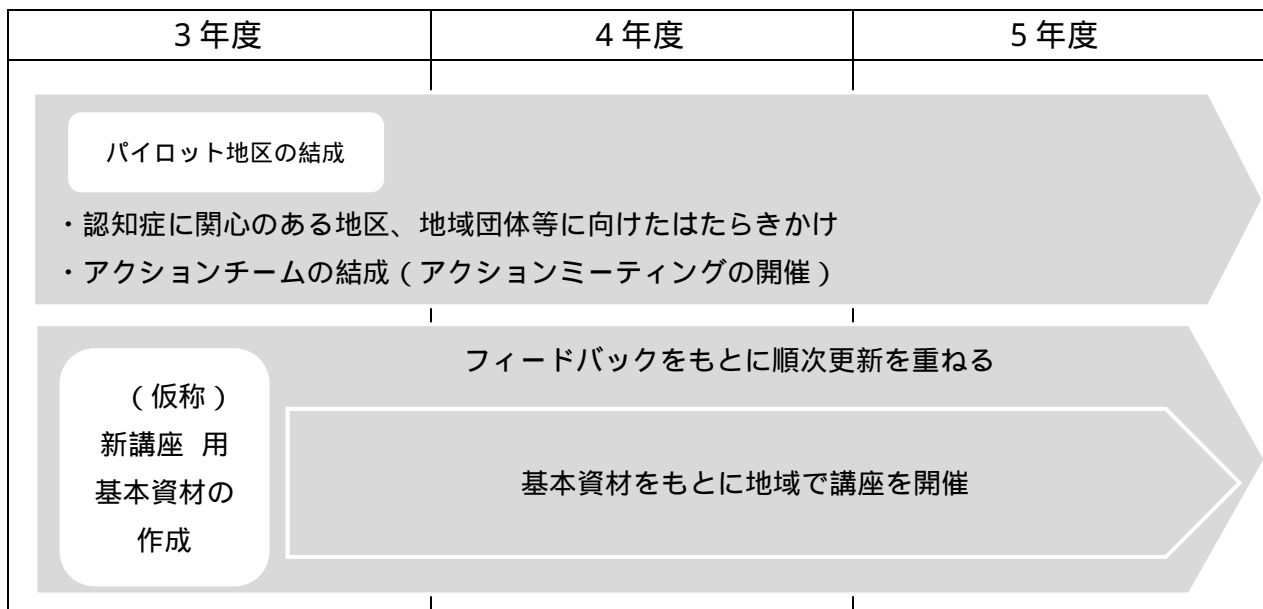
3年間の具体的な取組み



(仮称)新講座...従来の認知症サポーター養成講座をリニューアルした講座のことをいいます。

目標	安心して暮らし続けられる地域づくりを推進する		
3年間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりプロジェクトを中心に活動を展開し、地域の多様な人々とともにアクションチームが自発的に結成されるよう取り組み、活動の中での好事例集を作成し、区民等や全地区へ広げていきます。 ・アクションチームは、区内28地区で活動が実施できるよう、活動につながる準備等の始動を含めて取り組みます。 ・認知症になってからも安心して暮らし続けられる地域づくりを従来の認知症サポーター養成講座の内容を補強しながら世田谷版認知症サポーター養成講座に取り組みます。 		
	内容	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和5年度)
	地域づくりについて話し合うアクションチームの実施	/	
	世田谷版認知症サポーターの累計数 (従来のサポーターを含む)	(予測値) 36,000人	53,040人

3年間の具体的取組み



(仮称)新講座...従来の認知症サポーター養成講座をリニューアルした講座のことをいいます。

世田谷区認知症とともに生きる希望計画における活動状況およびスケジュール(案)

(仮称)新講座...従来の認知症サポーター養成講座をリニューアルした講座のことをいいます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
評価委員会					第1回(8/30)		第2回			第3回		
部会		第1回(5/31)	必要に応じて開催									
プロジェクト推進チーム・世話人会議	プロジェクト推進チーム・世話人会議					・8/23・24推進チーム説明会 ・条例1周年イベントの検討等						
	情報発信・共有	【目標】9月末までに、(仮称)新講座の資料を作成 (仮称)新講座カリキュラム・テキスト検討(9月末完成予定) 9/26 世田谷区薬剤師地区研修会(全区) 【済】介護保険のてびき、介護保険ガイドブック、シルバー情報への掲載実施 【済】6/28~ 福祉人材育成・研修センターにてケアマネジャー向け研修(web研修) 【済】7/7認知症カフェ交流会 【済】7/14社会福祉協議会地域所長会、8/11地区担当者研修会(Zoom)					【目標】10月中に、(仮称)新講座の試行実施を開始 (仮称)新講座の実施(10月中に開始予定) (あんすこ、キャラバン・メイトへのガイダンスを10月に実施後、順次各あんすこで実施) 認知症ケアパス内容更新(年度内印刷を目指す) 子ども用普及啓発パンフレットについての検討(印刷時期は未定)					
	本人発信	【目標】9月末までに、(仮称)新講座の資料(本人発信動画)を作成 発信を通じて活躍する本人を増やす活動(1年間かけて継続実施) 情報発信プロジェクト((仮称)新講座、講演会等)と一体的に実施(本人発信動画の作成) 【済】認知症講演会(6/4、貫田氏動画収録にて発信) 【済】TV取材(6/18、長谷部氏出演)					【目標】10月中に、(仮称)新講座の試行実施を開始					
	私の希望ファイル	【目標】「私の希望ファイル」のひな型(試作版)を作成 【目標】10月末までに、本人、多様な人たちがともに、自らの希望について考える機会をつくる 「私の希望ファイル」の内容・活用方法等の検討 試作版「私の希望ファイル」を町会・自治会、パイロット地区等で活用 本人交流会事業や講演会等で紹介・実践・展開 認知症初期集中支援チーム事業等で個別に実践・展開										
	地域づくり(アクションチーム結成・パイロット地区)	【目標】認知症に関心のある地区、地域団体等へ主体的・自主的な結成に向けた話し合い、推進 【パイロット地区】世田谷地域(調整中)、北沢地域(調整中)、玉川地域(深沢)、砧地域(未定)、烏山地域(上北沢) ・【済】6/28、7/19、8/19深沢地区懇話会等 ・【済】7/19上北沢地区懇話会					・認知症に関心のある地区へ出向き、試作版「私の希望ファイル」を活用し、話し合いを重ねながらブラッシュアップしていく					
庁内連携・その他普及啓発など	・まちづくりセンター等連絡調整協議会 ・上馬地区民生委員・児童委員協議会	・保健福祉課長会 ・保健福祉課地域支援担当係長会	・まちセン所長会 ・保健福祉課地域支援担当係長会 ・あんすこスキルアップ会議	・上馬地区懇話会 ・砧地域ケア連絡会 ・あんすこスキルアップ会議 ・保健福祉課長会 ・保健福祉課地域支援担当係長会	・保健福祉課長会 ・保健福祉課地域支援担当係長会	・新代田地区懇話会 ・太子堂あんすこ青空カフェ ・用賀あんすこ勉強会	・池尻地区懇話会	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (9月~11月) ・9/1~9/15 東急世田谷線ポスター掲示 ・9/13~9/17 区政PRコーナー展示 ・9/30 認知症講演会(アルツハイマー月間イベント)区報8/15号 ・10/23 RUN伴せたがや2021 </div>				
	【時期未定】・代沢地区勉強会 ・二子玉川地区勉強会 ・祖師谷地区勉強会 ・社会福祉協議会成年後見センター研修会 ・商店街連合会 ・小学校・中学校校長会											

世田谷区認知症とともに生きる希望計画における普及啓発等の状況

	月日	時間帯	手法	会場	会議名等	講師・説明者等 敬称略	区	認サポ センター
済	4月5日(月)	午前	集合形式	庁議室	まちづくりセンター等連絡調整協議会	区	○	
済	4月23日(金)	午後	集合形式	上馬まちづくりセンター	上馬地区民生委員・児童委員協議会	区	○	
済	5月26日(水)	午後	集合形式	分庁舎 第2認定審査会場	保健福祉課長会	区	○	
済	5月27日(木)	午前	集合形式	分庁舎 第1認定審査会場	保健福祉課地域支援担当係長会	区	○	
済	6月3日(木) 6月7日(月) 6月4日(金) 6月4日(金) 6月3日(木)	午後	集合形式	世田谷支所会議室 北沢支所庁議室 玉川支所庁議室 砧支所対地域本部室 烏山支所第4会議室	世田谷地域 ブロック所長会(まちづくりセンター所長会) 北沢地域 ブロック所長会(まちづくりセンター所長会) 玉川地域 ブロック所長会(まちづくりセンター所長会) 砧地域 ブロック所長会(まちづくりセンター所長会) 烏山地域 ブロック所長会(まちづくりセンター所長会)	区	○	
済	6月中旬~ 7月中旬	WEB研修		福祉人材育成・研修センター	世田谷区認知症とともに生きる条例及び認知症に関する制度と動向	大熊・永田・区	○	
済	6月24日(木)	午後	集合形式	保健医療福祉総合プラザ (うめとびあ)	あんしんすこやかセンタースキルアップ会議(対象:管理者)	大熊・永田・認サポセンター	○	○
済	6月28日(月)	午後	集合形式	桜新町区民集会所	深沢あんしんすこやかセンター条例勉強会 (まちづくりセンター、社会福祉協議会、ケアマネジャーが参加)	大熊・永田・中澤・遠矢	○	○
済	7月7日(水)	午後	集合形式	梅ヶ丘パークホール	認知症カフェ交流会	中澤		○
済	7月14日(水)	3:30~3:50 (20分間)	集合形式	社会福祉協議会 本部	社会福祉協議会 地域所長会 (地区担当者を対象としたZOOMでの勉強会を依頼)	区	○	
済	7月19日(月)	午後	集合形式	深沢あんしんすこやかセンター	深沢あんしんすこやかセンター条例勉強会(職員のみ)	遠矢、認サポセンター (ZOOMで参加)		○
済	7月19日(月)	15:00~15:40 (40分間)	集合形式	上北沢まちづくりセンター	上北沢地区三者連携会議 三者...まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会	大熊、中澤	○	○
済	7月21日(水)	変更 9:30~ 10:10(40分間)	集合形式	砧支所(ミーティングルームAB)	砧地域ケア連絡会	大熊、中澤	○	
済		午後	集合形式	区役所(ブライツホール)	あんしんすこやかセンタースキルアップ会議(対象:認知症専門相談員)	大熊・中澤・認サポセンター	○	○
済	7月28日(水)	午後	集合形式	分庁舎 第2認定審査会場	保健福祉課長会	区	○	

世田谷区認知症とともに生きる希望計画における普及啓発等の状況

	月日	時間帯	手法	会場	会議名等	講師・説明者等 敬称略	区	認サポ センター
済	7月29日(木)	午前	集合形式	分庁舎 第1認定審査会場	保健福祉課 地域支援担当係長会	区	○	
済	7月29日(木)	変更10:00~ 11:00(1時間)	集合形式	上馬まちづくりセンター	上馬地区三者連携会議 三者...まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会	大熊、永田、中澤	○	○
済	8月11日(水)	14:30~16:30	ZOOM	社会福祉協議会、ホストは区役所	社会福祉協議会 地区担当職員を対象(欠席者は8月中に録画視聴)	大熊、永田、中澤	○	○
済	8月19日(木)	18:00~	集合形式	深沢あんしんすこやかセンター	深沢あんしんすこやかセンター条例勉強会(ケアマネジャー等向け)	遠矢、認サポセンター (ZOOMで参加)		○
	9月13日(月)	14:00~14:45	集合形式	新代田あんしんすこやかセンター	新代田地区三者連携会議	大熊、中澤	○	○
	9月22日(水)	10:00~11:30	集合形式	太子堂あんしんすこやかセンター	青空カフェ(太子堂あんしんすこやかセンター主催)(対象:あんしんすこやかセンター、 カフェ従事者(民生委員・あんしんすこやかセンターボランティア等))	大熊、永田、中澤、遠矢	○	○
	9月26日(日)	午後	ZOOM		世田谷区薬剤師地区研修会(条例勉強会)	大熊	○	
	9月27日(月)	10:00~12:00 (2時間)	集合形式	用賀あんしんすこやかセンター	用賀あんしんすこやかセンター 条例勉強会	大熊、永田、中澤	○	○
	10月12日(火)	10:45~11:30 (45分間)	集合形式	池尻あんしんすこやかセンター	池尻地区四者連携会議 四者...まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会、児童館	大熊・中澤	○	○
	未定	未定	未定	未定	代沢あんしんすこやかセンター 条例勉強会	未定	○	○
	未定	未定	未定	未定	二子玉川あんしんすこやかセンター 条例勉強会	未定	○	○
	未定	未定	未定	未定	祖師谷あんしんすこやかセンター 条例勉強会	未定	○	○
	未定	未定	未定	未定	社会福祉協議会 今後、成年後見センター職員、あんしん事業担当職員への研修について打診中	未定	○	○
	未定	未定	未定	未定	商店街連合会(全体会)	未定	○	○
	未定	未定	未定	未定	小学校校長会(子ども向け普及啓発)	区	○	
	未定	未定	未定	未定	中学校校長会(子ども向け普及啓発)	区	○	

認知症の方のセーフティーネットについて

1、これまでの経過等

(1) 他の自治体等が実施している認知症損害賠償保険（以下、「賠償保険」という。）事業の状況等について、以下の認知症施策評価委員会及び認知症施策評価委員会にかかる部会において、本人、家族を含む委員より意見をいただいた。

- ・令和2年度第1回認知症施策評価委員会（12月3日）
- ・令和2年度第1回認知症施策評価委員会にかかる部会（12月21日）
- ・令和2年度第3回認知症施策評価委員会にかかる部会（令和3年1月12日）

【委員の主な意見】（意見については要旨としている）

- ・知的障害の方の実例として、判断能力がないため保険金がでず、監督責任の問題になった実例がある。民法713条の行為責任の関連もあるため、判断能力がない認知症の方も保険適用されるのかを調べておく必要がある。
- ・行政として力を入れるべきは、認知症の人が安心して外出できるよう、本当の意味で、地域でともに支えるまちをつくることであり、そのための希望条例である。見守りやいざというときのSOS体制の強化がされていない中で、事故が起きた後の事後的対処だけを施策に入れるのは施策全体としての整合性が合っていない。
- ・賠償保険は、認知症の人は危険な人といったネガティブなイメージを与えるという意味で、世田谷区が導入すべきかもっと論議をしなければいけない。
- ・家族に迷惑がかかり、これ以上負担をかけられないで済む方法があるならば、家族が少しでも助かるのであれば良いと思う。
- ・賠償保険の制度があれば本当にありがたい、一方で、認知症の人はとても危ない存在だと区民の方に思われてしまう。
- ・賠償責任について訴訟する家族の負担を考えると、そういう取り組みを入れてくださるうとしている区の方の気持ちは本当にありがたい。でも、どちらとも… …。
- ・区民全体の見守り体制や、スーパーマーケットやいろいろな人たちが支えるということのほうが今は大事で、見守り体制が整ったうえで、こういう保険があったらいいのではないか。

(2) 令和3年7月、賠償保険事業を実施している自治体への郵送によるアンケート調査を実施（資料6-②参照）

2、今後の検討の進め方について

引き続き、委員会及び部会の意見、調査結果をもとにしながら、希望計画に基づく4つの重点テーマ及びプロジェクトを進めていくなかで、地域の見守りネットワーク及び賠償保険も含めたセーフティーネット全体について検討していく。

検討については、「地域づくりプロジェクト」をはじめとする4つのプロジェクトと連動性を持つ「(仮称)セーフティーネットについて検討する部会」を設置し、検討内容については認知症施策評価委員会で報告していく。「(仮称)セーフティーネットについて検討する部会」は、委員長が指名する委員をもって組織する。

認知症高齢者等個人賠償責任保険事業にかかる自治体向け調査結果について（速報）

1. 調査概要

令和3年7月27日付で75自治体に対し、アンケート調査を依頼した。
回答：62自治体（回答率：82%）

2. 対象者

以下のいずれかを要件にしている自治体が大半である（いずれも事前登録が必要）
見守りネットワーク、SOS ネットワーク等の登録者
認知症の診断を受けている
行方不明になる可能性のある方

認知症以外の方も対象者にしている自治体

・5自治体

障がい者手帳所持者

認知症以外の理由により、行方不明になる可能性がある者で区市町村長が必要と認める人

療育手帳所持者、精神保健福祉手帳所持者

次のいずれかに該当する人

- ・身体障がい者手帳を所持する人
- ・療育手帳を所持する人
- ・精神保健福祉手帳を所持する人

行方不明となる可能性のある障がい児・障がい者

（療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人）

3. 事業予算

各自治体の人口動態、対象者の要件、加入者等により異なる。

- ・最大自治体：112,035千円（加入者1,977人）
- ・最小自治体：27千円（加入者12人）

4. 補償実績

- ・補償実績のある自治体：10自治体（回答のあった62自治体の16%）
- ・補償件数：延べ27件
- ・補償額：約2千円～605千円（平均 約100千円）

・補償状況の具体例

給付金額：約 2,000円

店舗内で商品を落としてしまい、弁償した。

給付金額：15,932円

他人の所有する自転車を自宅へ持ち帰ってしまい、その自転車に損傷を与えた。

給付金額：138,632円

飲食店で食事中に座席を汚損した。

給付金額：260,605円

車の左ドアミラー及び左ボンネットを誤って破損させた。

給付金額：605,000円

トイレを紙でつまらせ、下の階まで汚水が漏水。階下のキッチン設備やトイレのクロス等が汚水で濡れて使用できなくなった。

5. 事業評価

・3自治体で事業加入者へアンケート調査を実施し、評価を行っている。

・各自治体が挙げている主な課題

周知方法（加入者が想定より少ない）

損害賠償責任が発生しなかった場合の被害者救済方法。

保険の対象要件から外れた場合（死亡、施設入所）の把握が困難。

安価な民間保険の取り扱いが増えてきており、行政が事業実施する意義を検討する必要がある。

事業の効果検証が困難である。

世田谷区認知症とともに生きる希望条例

～知ろう！ 語り合おう！ 一緒に動き出そう！～

◇今、新たなスタートの時期

- ・大人でも子どもでも、誰もが無関係でないのが認知症です。認知症になっても地域で自分らしく、希望をもって生きることができる世田谷をつくろうと、昨年10月に「世田谷認知症とともに生きる希望条例」が施行され、その実現のための「希望計画」が今年3月に策定されました。
- ・希望計画では、「①今までの認知症に対する考え方を変える」、「②本人が声を伝え、参加する」、「③みんながこの先の『そなえ』をする」、「④暮らしやすい地域をともにつくる」という4つを重点テーマとして、それらを一体的に推進していくためにプロジェクト推進チームを設置し、地域に根差した活動を一步一步進めていきます。
- ・ともに動きだす、今、まさに、そのスタートの時期です。

◇地区それぞれで、推進役の人たちと一緒に「アクションチーム」を

- ・認知症を考えることは、まちづくりを考えることです
- ・条例を絵に描いた餅で終わらせないために、区内28地域ごとに「アクションチーム」を結成し、年齢や職種を超えた人たちが一緒になって活動を展開していくことが予定されています。
- ・この活動を各地域で無理・無駄なく進めていくためには、地域でさまざまな実務を担いながら地域づくりを推進してこられている「福祉の相談窓口」（あんしんすこやかセンター、まちづくりセンター、社会福祉協議会）の皆さんや、区民団体の皆さんの知恵とチカラ、協働が不可欠です。

◇まずはあなたの地域で懇話会を：プロジェクト推進チームが出向きます

- ・プロジェクト推進チームでは、希望計画の今後の進め方について最新情報をお伝えし、各地区ならではのアクションチームの立ち上げや展開について語り合う懇話会（出前講座）を企画しました。
- ・現場で活動する皆さんとざっくばらんに語り合い、一緒に知恵を出し合うゆるやかな集まりです。
- ・「うちの地区でも・・・」という方は、下記の連絡先までどうぞお声かけ下さい。ご指定の場所に伺います。皆さんと実際に会い、話しあえることを楽しみにしています。

世田谷区認知症施策評価委員会、プロジェクト推進チーム世話人

大熊由紀子、永田久美子、中澤まゆみ、長谷川幹、遠矢純一郎、西田淳志

【連絡先】プロジェクト推進チーム事務局 認知症在宅生活サポートセンター

電話：03-6379-4315

メール：dhs-info@sakura-urban.jp